



● 草の根パートナー型

平成19年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	スリランカ
2. 事業名	ジャフナ県乾燥魚プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ジャフナ県では長年に亘る内戦と2004年のインド洋津波の被害により、漁業に直接従事する男性を失った寡婦世帯が多い。伝統的に女性が漁業に従事することは不可能であり、その他の就業機会も限られていることから、大半の寡婦世帯は貧困状態にある。これらの寡婦は漁村毎に組織されている漁業協同組合の支援を得て、地引網漁の際等に商品価値の低い雑魚を浜辺で拾い集め、乾燥魚を製造し、市場で販売している。しかし、加工技術が低く、また浜辺に並べて乾燥させていることから、衛生面でも問題があり、市場のニーズに合った乾燥魚を製造できているとは言えない。このようなことから、ジャフナ県漁村の貧困女性を対象に、乾燥魚の加工技術向上を通じた収入向上を図ることが急務である。
4. プロジェクト目標	事業対象の漁村において女性の収入が向上する。
5. 対象地域	ジャフナ県ヴァダマラッチ・イースト郡、ヴァダマラッチ・ノース郡、カライナーガル郡、ヴァラナイ郡の4漁村
6. 受益者層	寡婦を中心とした漁村貧困女性（4村落、各30名）および地域住民（150世帯、約600名）
7. 期待される成果及び活動	<p>(1) 水産加工産業を担う女性グループが組織化される。 詳細調査の実施、事業対象地域の確定および受益者の選定、ワークショップの実施、組織の形成、相互視察の実施</p> <p>(2) 市場のニーズに対応した衛生的で高品質の乾燥魚が生産できる。 詳細漁業調査の実施、水産加工マニュアルの作成、水産加工技術研修の実施、小規模水産加工場の建設、乾燥魚の製造</p> <p>(3) 販売のための管理運営ができる。 女性グループを対象としたマネージメント研修の実施、市場調査の実施、マーケティング研修の実施、販売活動の実施、共同販売の実施、事業モニタリングシステムの構築</p>
8. 実施期間	2010年10月～2013年9月（3年）
9. 事業費	50,000千円
10. 事業の実施体制	<p>PARCICジャフナ事務所には日本人現地調整員および現地業務補助員を配置し、プロジェクトマネージャーおよび短期専門家（水産加工技術）を定期的に短期派遣する。PARCIC東京事務所には、国内調整員を配置する。</p> <p>カウンターパート機関は、現場レベルでは事業対象4漁村の漁業協同組合とし、県レベルでは漁業水産資源省漁業水産資源局ジャフナ事務所とする。</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 パルシック（PARCIC）
2. 活動内容	東ティモールおよびスリランカにおける民際協力活動及びフェアトレード事業